

専 門 科 目

【問 1】 下記の論文群（別冊：A～H）から1つを選び、看護学、理学療法学、作業療法学、放射線技術科学のいずれかの専門領域における実践の観点にたち、選択した論文の論旨について各自の考え（研究方法、データ分析法、結果の解釈、考察、専門分野との関連性、等）を述べよ。文字数は1000字以内とする。

【問 2】 問 1 の解答を基に、研究方法や結果の解釈に対する各自の新しい提案を述べよ。文字数は500字以内とする。

-論文群-

看護学領域

- A：小粥宏美. 看護学生の対人関係場面における認知のゆがみのタイプとストレス反応との関連. 日本看護科学会誌 2013；33(2)：21-28.
- B：植村直子、マルティネス真喜子、畑下博世. 在日ブラジル人妊産婦の日常生活と保健医療ニーズ 妊婦健診・家庭訪問でのフィールドワークより. 日本公衆衛生雑誌 2012；59(10)：762-769.

理学療法学領域

- C：吉田 豊，渡辺重人，角田亘，他. 脳卒中後片麻痺患者に対する，反復性経頭蓋磁気刺激と集中的 リハビリテーションの併用療法：歩行機能および下肢運動機能への影響について. 東京慈恵会医科大学雑誌 2011；126(5)：177-185.
- D：一場友美，解良武士，島本隆司，他：呼吸抵抗負荷の相違による呼吸筋活動の分析. 理学療法科学.2002；17(3)：195-198.

作業療法学領域

- E：大松慶子，山田孝. 作業療法士の作業療法のとらえ方と初回面接・実践内容の関連. 作業行動研究 2011；14(4)：263-273.
- F：北地雄，原辰成，佐藤優史，他. 脳血管疾患患者における Timed Up and Go test の試行間の変動と歩行自立度の関係. 理学療法科学 2012；27(4)：427-432.

放射線技術科学領域

- G：今井一博. CT／有限要素法による脊椎骨折の解析 ―基礎研究から臨床応用まで―. 日本臨床バイオメカニクス学会誌 2008；29：1-6.
- H：河野友宏，荒木不次男，中口裕二，大野剛. 画像誘導放射線治療における kV-cone beam CT の被ばく線量の評価. 日本放射線技術学会雑誌 2013；69(7)：753-760.